

令和 4 年度 ごみ処理状況について

富士市環境部廃棄物対策課

# 令和 4 年度 ごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量は焼却量とともに数値上は漸減傾向にある。～

… 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に掲げる4つの目標指標のうち、事業系ごみ焼却量 について目標を達成しました。 …

## 1) ごみ処理総量等

富士市のごみ処理量 (単位：t)

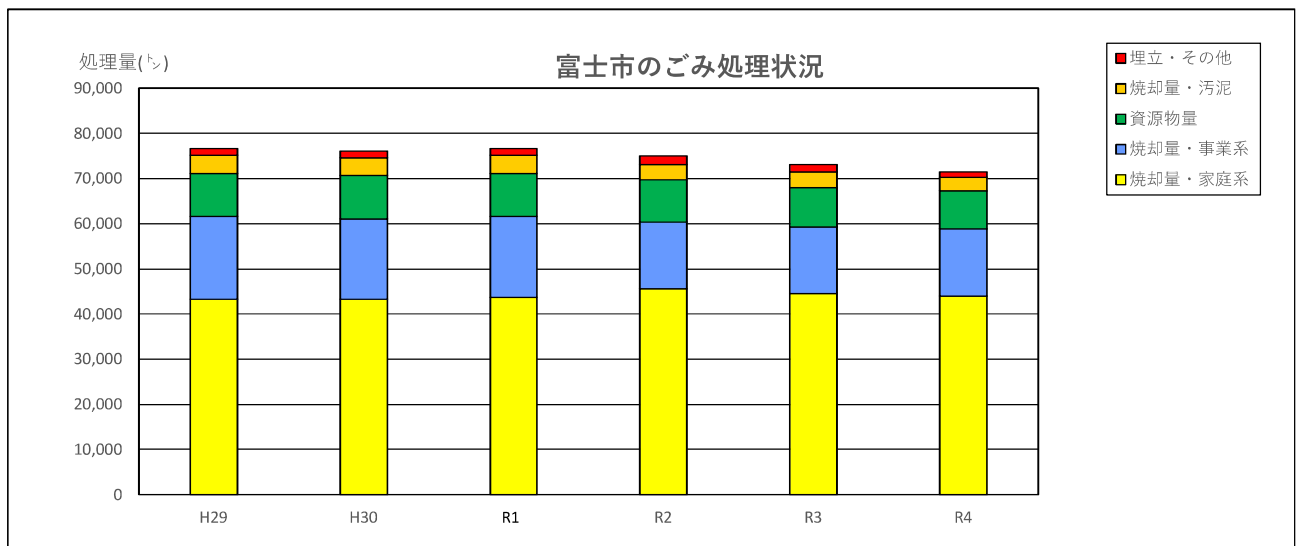
※注 増減率は、それぞれ前年度の数値と比較したもの。前年度または今年度の数値が0の場合については、増減率を表記していない。

項目 \ 年度		平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	対前年差引
ごみ処理総量	量 (t)	76,833	76,176	76,770	75,154	73,319	71,623	△ 1,696
	増減率 (%)	△ 0.9%	△ 0.9%	0.8%	△ 2.1%	△ 2.4%	△ 2.3%	
焼却量	量 (t)	65,761	64,964	65,582	63,883	62,817	62,026	△ 791
	増減率 (%)	△ 0.9%	△ 1.2%	1.0%	△ 2.6%	△ 1.7%	△ 1.3%	
家庭系	量 (t)	43,260	43,243	43,665	45,597	44,517	43,939	△ 578
	増減率 (%)	△ 0.9%	△ 0.0%	1.0%	4.4%	△ 2.4%	△ 1.3%	
事業系 その他	量 (t)	18,402	17,762	17,930	14,810	14,792	14,987	195
	増減率 (%)	△ 0.2%	△ 3.5%	0.9%	△ 17.4%	△ 0.1%	1.3%	
罹災物 (焼却)	量 (t)	0	0	0	22	62	22	△ 40
	増減率 (%)	-	-	-	-	181.8%	△ 64.5%	
下水汚泥 し尿汚泥	量 (t)	4,099	3,959	3,987	3,454	3,446	3,078	△ 368
	増減率 (%)	△ 3.8%	△ 3.4%	0.7%	△ 13.4%	△ 0.2%	△ 10.7%	
資源物量 *3	量 (t)	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	8,334	△ 392
	増減率 (%)	△ 2.0%	2.3%	△ 1.0%	△ 2.1%	△ 6.5%	△ 4.5%	
埋立・その他 *1	量 (t)	1,654	1,574	1,649	1,935	1,776	1,263	△ 513
	増減率 (%)	5.9%	△ 4.8%	4.8%	17.3%	△ 8.2%	△ 28.9%	
ごみ処理基本計画対象量 *2	量 (t)	72,597	72,216	72,720	71,607	69,708	68,439	△ 1,269
	増減率 (%)	△ 0.8%	△ 0.5%	0.7%	△ 1.5%	△ 2.7%	△ 1.8%	

\*1 直接埋立、破砕埋立、マット・ソファ・罹災物を含む

\*2 ごみ処理基本計画対象量 = ごみ処理総量 - (下水・し尿汚泥 + 罹災物) \*3 行政回収量のみ把握 (集団回収量等については不算入)

\*4 罹災物 (焼却) についてはR1までは「事業系その他」に含まれていた。



①ごみ処理総量は、 71,623 t となり、対前年比で  $\Delta 2.3\%$  の減少

前年度と比較したごみ処理総量減少分  $\Delta 1,696$  t の内訳については、埋立その他で  $\Delta 513$  t 減少、資源物量については  $\Delta 392$  t 減少、焼却量については  $\Delta 791$  t 減少した。

②新環境クリーンセンターでの焼却量は、 62,026 t となり、対前年比で  $\Delta 1.3\%$  の減少

○対前年比で家庭系ごみが、  $\Delta 578$  t 減少し、事業系その他は 195 t 増加している。

ごみ処理総量は、令和3年度に比べ1,696トンの減少となりました。この結果となった理由は下記の通りとなります。

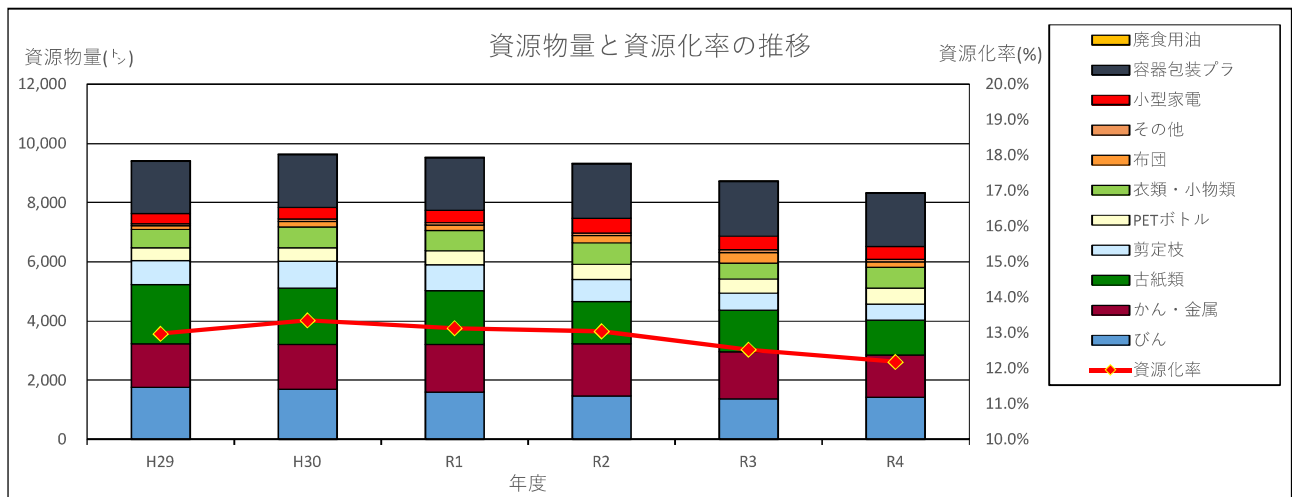
- ・令和4年度はコロナ禍に改善が見られたため、自宅で過ごす時間が減り家庭系ごみが減少したと考えられる。また、その一方で事業系ごみは微増しコロナ禍前の水準に近付いたと考えられる。
- ・市民のリデュース意識の向上や民間の回収ボックスの活用によって、資源物量が392トン減少したため。（SDGsへの取組などによる企業努力が根付きつつあると考えられるため）

## 2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量 (t) と資源化率 (%)

項目 \ 年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	対前年差引
資源物総量	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	8,334	$\Delta 392$
びん類	1,764	1,689	1,595	1,474	1,372	1,423	51
かん・金属	1,460	1,516	1,604	1,753	1,588	1,424	$\Delta 164$
古紙類	2,004	1,909	1,836	1,417	1,398	1,190	$\Delta 208$
剪定枝	807	901	869	744	589	528	$\Delta 61$
ペットボトル	430	460	457	528	469	540	71
衣類・小物類(靴、鞆、ベルト)	633	713	697	729	531	706	175
布団類	116	182	185	242	369	188	$\Delta 181$
その他(電池・コード類・蛍光管)	74	76	78	83	91	87	$\Delta 4$
小型家電	339	393	426	497	468	428	$\Delta 40$
容器プラ(白色トレイ含む)	1,762	1,771	1,765	1,849	1,841	1,801	$\Delta 40$
廃食用油	29	28	28	20	10	19	9
資源化率 *1	13.0%	13.3%	13.1%	13.0%	12.5%	12.2%	$\Delta 0.3\%$

\*1 資源物総量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100



- ①資源物総量は 8,334 t で、対前年比で  $\Delta 4.5\%$  (  $\Delta 392t$  ) 減少した。
- ②ごみ総量が 減少し 資源物総量も 減少 した。その結果、資源化率は 12.2% と前年度より  $\Delta 0.3$  ポイント 下回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙の主要品目で全資源物量の半分程度を占めているが、対前年比でそれぞれ  
びん 3.7% 増加、かん・金属  $\Delta 10.3\%$  減少、古紙類は  $\Delta 14.9\%$  減少している。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、布団類、容器プラ、廃食用油の比較的近年に取り組み出した品目について

○ペットボトル	71 t	(対前年比 15.1%)	増加している。
○剪定枝	$\Delta 61$ t	(対前年比 $\Delta 10.4\%$ )	減少している。
○衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)	175 t	(対前年比 33.0%)	増加している。
○布団類	$\Delta 181$ t	(対前年比 $\Delta 49.1\%$ )	減少している。
○容器プラ	$\Delta 40$ t	(対前年比 $\Delta 2.2\%$ )	減少している。
○廃食用油	9 t	(対前年比 90.0%)	増加している。

資源物量は、全体で392トン減少しました。減少となった理由は、下記が考えられます。

- ・古紙類は、新聞・雑誌等、紙媒体発行部数の減少等及び民間の古紙ステーションの活用が広がったことが影響し、208トン減少したと考えられる。
- ・布団類の181トンの減少は、コロナ禍の影響が改善され、以前の水準に戻ったためと考えられる。

### 3) 富士市ごみ処理基本計画2015-2024目標値との対比

- 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に基づく1人1日当たりの焼却量及び資源化率、事業系ごみについて

(単位：g)

項目 \ 年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	480	475	470	468	466	464
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	482	484	490	516	504	497
資源化率[%](目標値)	16.5%	17.5%	18.0%	18.2%	18.4%	18.6%
資源化率[%](実績値)	13.0%	13.3%	13.1%	13.0%	12.5%	12.2%
1人1日あたりの焼却量(目標値)	650	645	640	636	632	628
1人1日あたりの焼却量(実績値)	664	659	668	657	648	650
事業系ごみ焼却量(目標値)	17,700	17,300	16,800	16,600	16,400	16,200
事業系ごみ焼却量(実績値)	18,402	17,762	17,930	14,810	14,792	14,987

※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物量は除く。

\* 家庭系ごみ1人1日当たり排出量(g) = (家庭系焼却量 + 埋立(罹災物は除く))(t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

\* 資源化率(%) = 資源物量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)

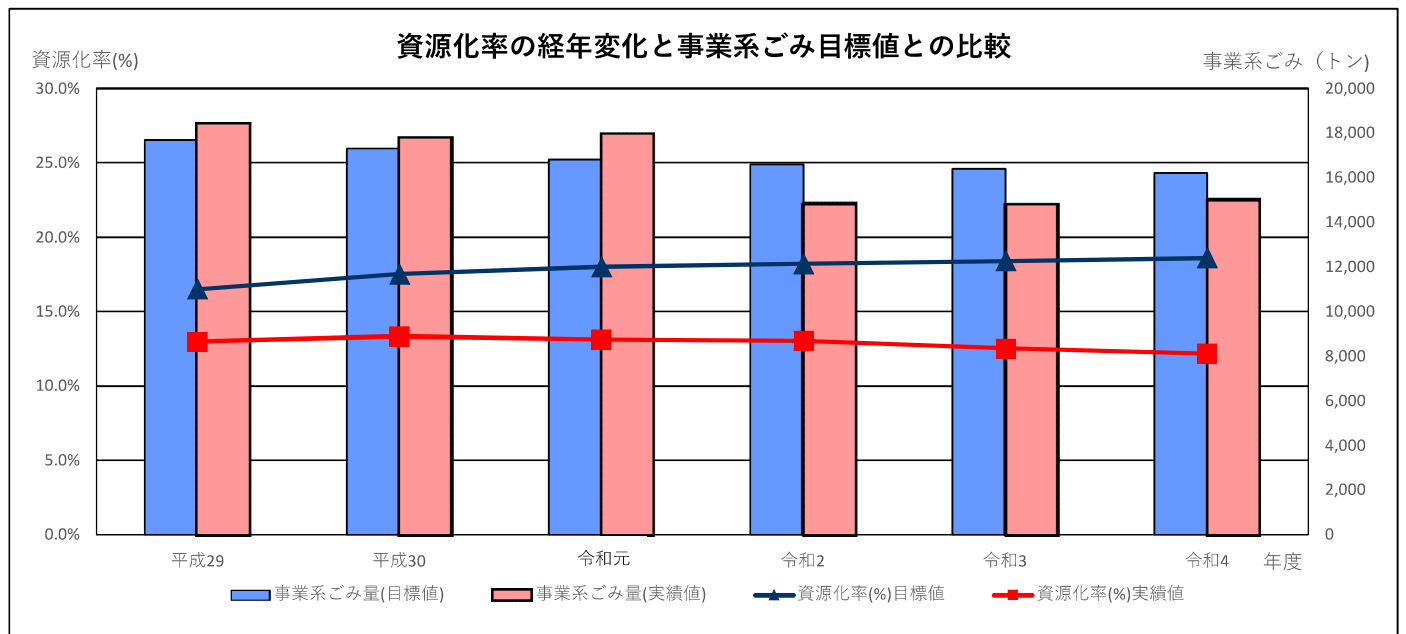
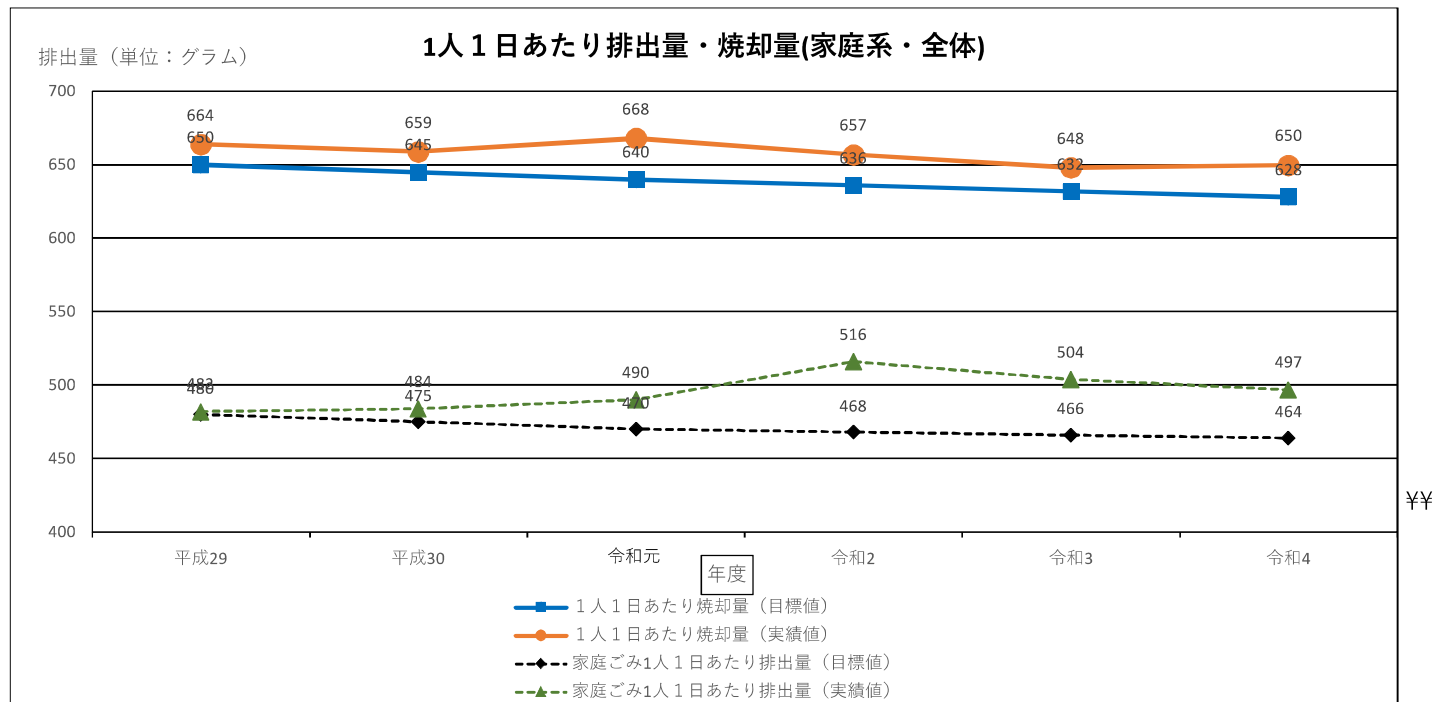
\* 1人1日当たりの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

\* 富士市人口 248,368 人 ( 3 月末現在)

【ごみ処理基本計画対象値の構成】

(単位 : t)

項目 \ 年度		平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	構成比
焼却量 (罹災物・下水・し尿汚泥は除く)	量 (t)	61,662	61,005	61,595	60,407	59,309	58,926	86.1%
	増減率 (%)	△ 0.7%	△ 1.1%	1.0%	△ 1.9%	△ 1.8%	△ 0.6%	
資源物量	量 (t)	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	8,334	12.2%
	増減率 (%)	△ 2.0%	2.3%	△ 1.0%	△ 2.1%	△ 6.5%	△ 4.5%	
埋立 (罹災物を除く)	量 (t)	1,517	1,573	1,586	1,863	1,673	1,180	1.7%
	増減率 (%)	1.1%	3.7%	0.8%	17.5%	△ 10.2%	△ 29.4%	
ごみ処理基本計画対象	量 (t)	72,597	72,216	72,720	71,607	69,708	68,439	100%
	増減率 (%)	△ 0.8%	△ 0.5%	0.7%	△ 1.5%	△ 2.7%	△ 1.8%	



①ごみ処理基本計画対象値については 68,439 t となり、対前年比で  $\Delta 1.8\%$  減少し、  
焼却量（下水・し尿汚泥は除く）についても、 58,926 t となり、対前年比で  $\Delta 0.6\%$  減少となった。

○ごみ処理基本計画対象値における焼却量（下水・し尿・汚泥は除く）の構成比は、 86.1% であり、対前年比で 1.0 ポイントの増加となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における資源物量の構成比は、 12.2% であり、対前年比で  $\Delta 0.3$  ポイントの減少となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における埋立量（罹災物は除く）の構成比は、 1.7% であり、対前年比で  $\Delta 0.7$  ポイントの減少となっている。

②家庭系ごみの1人1日当たりの排出量は 497 g であり、対前年比で  $\Delta 1.4\%$  (  $\Delta 7$  g ) の減少するも、目標値 464 g に対して 33 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 6.6% 超過し、達成できていない。

③資源化率は 12.2% であり、前年度から  $\Delta 0.3$  ポイント下回り、目標値 18.6% に対しては  $\Delta 6.4$  ポイント下回り、目標を達成していない。  
(行政回収のみ把握)

④1人1日当たりの焼却量は 650 g であり、対前年比で 0.3% ( 2 g ) の増加となったが、目標値 628 g に対して 22 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 3.4% 超過し、目標を達成していない。

⑤事業系ごみ焼却量は 14,987 t であり、対前年比で 1.3% ( 195 t ) の増加となり、目標値 16,200 t に対して  $\Delta 1,213$  t 下回り、目標を達成した。

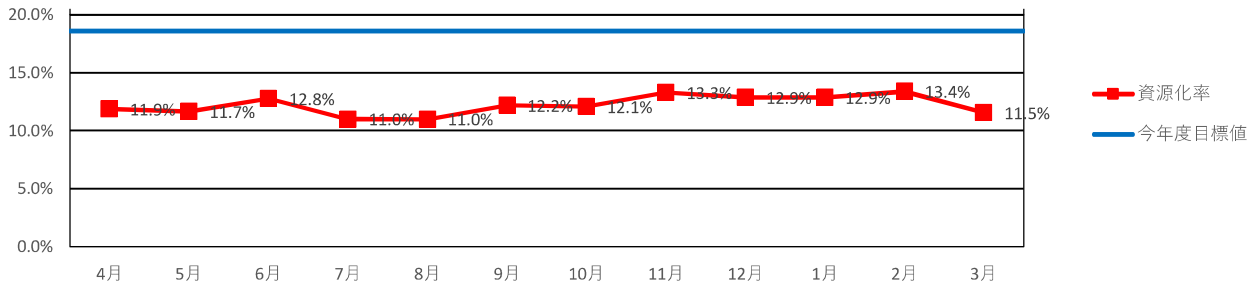
◇目標値に対する割合……  $\Delta 8.1\%$  下回り、目標を達成した。

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

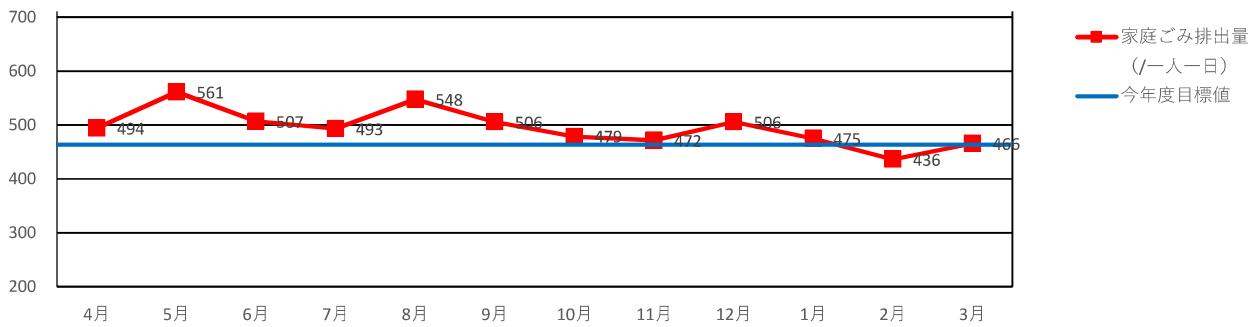
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	464 g											
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	494	561	507	493	548	506	479	472	506	475	436	466
資源化率[%](目標値)	18.6%											
資源化率[%](実績値)	11.9%	11.7%	12.8%	11.0%	11.0%	12.2%	12.1%	13.3%	12.9%	12.9%	13.4%	11.5%
1人1日あたりの焼却量(目標値)	628 g											
1人1日あたりの焼却量(実績値)	642	709	668	654	717	673	639	624	649	613	567	606
事業系ごみ焼却量(目標値)	1350 g											
事業系ごみ焼却量(実績値)	1,215	1,259	1,309	1,332	1,403	1,403	1,338	1,247	1,218	1,152	992	1,170

※ 目標値については、今年度のごみ処理基本計画に掲げる数値。なお、事業系ごみ量については年間の目標値を12か月で等分したものの

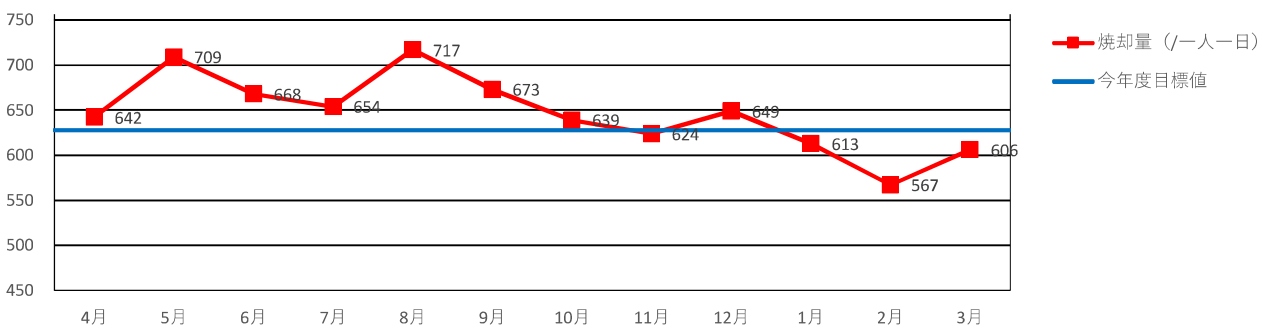
### 各月で見た資源化率の達成状況



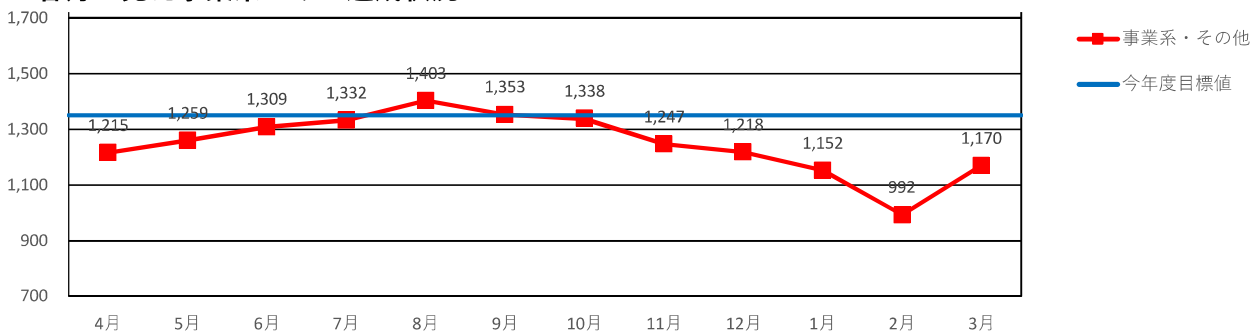
### 各月で見た家庭系ごみの1人1日当たり排出量の達成状況



### 各月で見た1人1日当たりの焼却量の達成状況



### 各月で見た事業系ごみの達成状況



- ①資源化率については、1年を通じて目標を達成していない。
- ②家庭系ごみの1人1日あたりの排出量については、2月のみ目標を達成した。
- ③1人1日あたりの焼却量については、11月、1月、2月、3月は目標を達成した。
- ④事業系ごみ焼却量については、8・9月を除いて目標を達成した。